

平成29年度事業報告

平成29年度において実施した事業については、次のとおりである。

第1 概 要

1 健康診断事業の推進

住民健診・事業所健診事業について、市町村並びに協会けんぽ等との連携強化により、特定健康診査、定期健康診断、協会けんぽ健診及びドック健診の実施数が前年度比約0.1%にあたる129人増加の155,993人の実施となった。各種がん検診受診者数については、乳がん検診、前立腺がん検診に大幅な減少があり、がん検診全体で前年度比約0.6%にあたる2,069人の受診者数の減少となった。

また、青森県より平成29年度から受託している大腸がん検診モデル事業については、青森市と弘前市の50歳代で過去5年間大腸がん検査未受診者を対象に便潜血検査を勧奨したところ、青森市3,288人、弘前市2,317人2市合わせて5,605人(13.2%)の実施となった。検査の結果、要精検者は317人(5.7%)となり、平成30年度も継続して実施することとなった。

検診車の更新については、昨年度に引き続き、健診事業の精度の向上のため、全X線検査装置検診車をデジタルにする事業を継続していることから、胸部・胃部X線撮影システム搭載検診車1台を整備し、その他循環器検診車1台の更新整備を実施した。その他施設内の医療機器では胸部X線撮影装置の更新を実施し、固定資産更新額は約2億円となった。ここ数年の設備投資累計が巨額になっていることから、今後の整備計画は資金繰りを十分注意して立てていかなければならない。

2 普及啓発事業の強化

受診率の向上強化のため、40市町村中、申込のあった33市町村に受診勧奨パンフレットを183,600部作成し配布した。また、各市町村及び各事業所に精密検査の受診率向上を目的とした精検受診勧奨パンフレットを14,000部作成し配布した。その他RABまつり等さまざまなイベントに参加し積極的に啓発・広報活動を展開した。

第2 通常事業

1 検診及び受託検査等の総括

市町村、事業所等の委託を受け、検診・検査事業を弘前大学大学院医学研究科、保健所、医師会及び医療機関の協力・指導のもとに次のとおり実施した。

前年度に比較し、検診の分野では人間ドック健診及び協会けんぽ健診が伸びているが、各種がん検診等の受診が減少したことにより、全体では1,940人の減少となった。

また、受託検査等については、細胞診の受託数が1,006人の減少となった。

検診及び検査等総括表

単位：人

年度 検診項目	29年度	28年度	増減(△減)	備考
1 特定健康診査	62,869	63,235	△ 366	
2 定期健康診断	69,369	70,288	△ 919	
3 人間ドック健診	5,793	5,523	270	
4 協会けんぽ健診	17,962	16,818	1,144	
特定健康診査等 計	155,993	155,864	129	
5 結核検診	145,594	146,238	△ 644	
6 肺がん検診	90,656	90,661	△ 5	
7 胃がん検診	83,860	84,100	△ 240	
8 大腸がん検診	105,020	103,425	1,595	
9 子宮がん検診	39,888	39,575	313	
10 乳がん検診	24,994	26,040	△ 1,046	
11 前立腺がん検診	24,002	26,688	△ 2,686	
12 学校心臓検診(心電図検査)	11,354	11,423	△ 69	
13 骨密度測定検診	10,048	9,272	776	
14 腹部超音波健診	11,338	10,907	431	
15 特定保健指導	2,571	2,416	155	
がん検診等 計	549,325	550,745	△ 1,420	
16 細胞診受託検査	26,089	27,095	△ 1,006	
受託検査等 計	26,089	27,095	△ 1,006	
総延人数	731,407	733,704	△ 2,297	

2 各種検診、検査等別実施状況

(1) 特定健康診査

健診車5台、機器運搬車7台で、市町村の保健センター等とセンター診療所で原則として40歳以上の者を対象に実施した。

受診者は 62,869人で、そのうち要精検は 13,071人（20.8%）、医療継続は36,541人（58.1%）、要指導12,123人（19.3%）となった。

特定健康診査実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検		医療継続		要指導		実施日数	1日当り 実施人員
			人員	率	人員	率	人員	率		
出張検診	市町村	53,922	10,651	19.8	32,681	60.6	9,800	18.2	597	90
	社保等	3,586	817	22.8	1,511	42.1	1,083	30.2		6
センター	市町村	3,982	1,274	32.0	1,945	48.8	697	17.5	64	62
	社保等	952	235	24.7	278	29.2	360	37.8	146	7
健管センター	社保等	427	94	22.0	126	29.5	183	42.9	144	3
合計		62,869	13,071	20.8	36,541	58.1	12,123	19.3	951	66

(2) 定期健康診断

事業所の従業員等を対象にコース別に実施した。

Aコースで13,755人、Cコースで 43,948人、その他のコースで 11,666人の計69,369人が受診し、受診者の21.9%に当たる 15,163人が要精検となり、41.6%に当たる28,842人が要指導となった。

Aコース 34歳以下の者及び36歳以上39歳以下の者を対象とする。

(胸部X線間接撮影・身長体重測定・視力検査・聴力検査・血圧測定・尿検査・聴打診)

Cコース 35歳の者及び40歳以上の者を対象とする。

(胸部X線間接撮影・身長体重測定・視力検査・聴力検査・血圧測定・尿検査・聴打診・心電図検査・貧血検査・血糖検査・肝機能検査・血中脂質検査)

その他のコース 簡易健康診断

定期健康診断実施状況

方式別	年				要精検		要指導		実施日数	一日当り 実施人員
	Aコース	Cコース	その他の コース	計	人員	率	人員	率		
出張検診	9,211	28,907	10,563	48,681	10,515	21.6	19,578	40.2	627	78
センター	2,865	9,235	752	12,852	3,035	23.6	5,462	42.5	223	58
健康管理センター	1,679	5,806	351	7,836	1,613	20.6	3,802	48.5	352	22
合計	13,755	43,948	11,666	69,369	15,163	21.9	28,842	41.6	1,202	58

(3) 人間ドック健診

ア. 一日ドック簡易コース

各事業所の委託を受け前年度 492人より 19人増加の 511人に実施し、37.4%に当る191人が要精検となり、27.4%に当る 140人が要指導となった。

イ. 一日ドック標準コース

各事業所の委託を受け前年度 3,729人より214人増加の3,943人に実施し、38.5%に当る 1,517人が要精検となり、24.4%に当る962人が要指導となった。

ウ. 二日コース

各事業所の委託を受け前年度 110人より 5人増加の 115人に実施し、41.7%に当る48人が要精検となり、11.3%に当る 13人が要指導となった。

エ. その他のコース

各事業所の委託を受け前年度 1,192人より 32人増加の 1,224人に実施し、33.9%に当る 415人が要精検となり、21.8%に当る 267人が要指導となった。

○人間ドック健診におけるがん検診等実施数（再掲）

	ドックセンター	健管センター	合計
肺がん検診	5,152	607	5,759
胃がん検診	4,713	539	5,252
大腸がん検診	5,043	595	5,638
子宮がん検診	1,642		1,642
乳がん検診	2,018		2,018
前立腺がん検診	2,951	391	3,342
腹部超音波健診	5,171	606	5,777
骨密度測定検診	2,262		2,262

(4) 協会けんぽ健診

全国健康保険協会の委託を受けセンター 4,131人、附属あおもり人間ドックセンター 653人、附属あおもり健康管理センター13,178人、計17,962人実施し、前年度16,818人より 1,144人増加となった。

○協会けんぽ健診におけるがん検診等実施数（再掲）

	センター	ドックセンター	健管センター	合計
肺がん検診	3,925	649	13,117	17,691
胃がん検診	2,813	592	11,177	14,582
大腸がん検診	3,633	631	12,530	16,794
子宮がん検診	232		840	1,072
乳がん検診	174		621	795
腹部超音波健診（付加）	108	31	285	424

(5) 結核検診

検診車11台による出張検診とセンター診療所で、原則として65歳以上の者を対象に実施した。

受診者は、市町村（一般住民）50,364人、事業所 66,542人、学校関係 18,022人（高校生 11,404人、大学生 5,403人、その他 1,215人）施設 10,666人、計 145,594人で、前年度より 644人の減少となった。

なお、受診者 145,594人中 1.8%の 2,587人が要精検となった。

結核検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検		実施日数	1日当り実施人員
			人員	率		
出張検診	市町村	47,621	332	0.7	701	68
	事業所	31,390	506	1.6	635	95
	学校関係	17,994	198	1.1		
	施 設	10,666	770	7.2		
	小計	107,671	1,806	1.7	1,336	81
センター	市町村	2,743	0	0.0	64	43
	事業所	14,332	289	2.0	225	64
	学校関係	28	0	0.0		
	施 設	0	0	0.0		
	小計	17,103	289	1.7	289	59
健管センター	事業所	20,820	492	2.4	360	58
合 計	市町村	50,364	332	0.7	765	66
	事業所	66,542	1,287	1.9	1,220	78
	学校関係	18,022	198	1.1		
	施 設	10,666	770	7.2		
			145,594	2,587	1.8	1,985

(6) 肺がん検診

原則として40歳以上の者を対象とするX線撮影をベースとし、50歳以上のハイリスク者には喀痰細胞診検査を併せて実施した。

ア. X線撮影	受診者は市町村(一般住民) 69,866人、事業所 20,227人、事業所(C T) 563人の計 90,656人で、2.4%に当る 2,170人が要精検となった。
イ. 喀痰細胞診検査	受診者は市町村(一般住民) 1,193人、事業所 1,274人の計2,467人で、その 0.1%に当る 3人が要精検となった。

肺がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検		実施日数	1日当り実施人員	
			人員	率			
X線撮影	出張検診	市町村	64,981	1,683	2.6	666	98
		事業所	12,448	218	1.8	236	53
		小 計	77,429	1,901	2.5	902	86
	センター	市町村	4,885	128	2.6	64	76
		事業所	2,268	32	1.4	154	15
		小 計	7,153	160	2.2	218	33
	ドックセンター	事業所	4,607	92	2.0	211	22
	健管センター	事業所	904	17	1.9	184	5
		市町村	69,866	1,811	2.6	730	96
		事業所	20,227	359	1.8	785	26
		小 計	90,093	2,170	2.4	1,515	59

X線撮影(CT)	ドックセンター	事業所	545	81	14.9	186	3	
		事業所(二次)	18	6	33.3			
	小計	563	87	15.5				
X線撮影		市町村	69,866	1,811	2.6	730	96	
		事業所	20,790	446	2.1	971	21	
		合計	90,656	2,257	2.5	1,701	53	
喀痰検査		出張検診	市町村	1,176	3	0.3	666	2
			事業所	497	0	0.0	236	2
			小計	1,673	3	0.2	902	2
		センター	市町村	17	0	0.0	64	0
			事業所	119	0	0.0	154	1
			小計	136	0	0.0	218	1
		ドックセンター	事業所	478	0	0.0	175	3
		健管センター	事業所	180	0	0.0	99	2
		合計	市町村	1,193	3	0.3	730	2
			事業所	1,274	0	0.0	664	2
			合計	2,467	3	0.1	1,394	2

(7) 胃がん検診

検診車8台とセンター診療所で、原則として40歳以上の者を対象に実施した。

受診者は、市町村(一般住民) 50,562人、事業所 33,121人の計 83,683人で、7.7%に当る6,470人が要精検となった。

胃がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検		実施日数	1日当り 実施人員	
			人員	率			
X線撮影	出張検診	市町村	46,817	3,948	8.4	1,189	39
		事業所	10,068	657	6.5	354	28
		小計	56,885	4,605	8.1	1,543	37
	センター	市町村	3,745	283	7.6	64	59
		事業所	6,045	381	6.3	223	27
		小計	9,790	664	6.8	287	34
	ドックセンター	事業所	3,674	312	8.5	213	17
	健管センター	事業所	12,472	879	7.0	321	39
	合計	市町村	50,562	4,231	8.4	1,253	40
		事業所	32,259	2,229	6.9	1,111	29
			82,821	6,460	7.8	2,364	35
	内視鏡検査(ドックセンター)		事業所	1039	117	11.3	160
合計		市町村	50,562	4,231	8.4	1,253	40
		事業所	33,298	2,346	7.0	1,271	26
			83,860	6,577	7.8	2,524	33

(8) 大腸がん検診

原則として、40歳以上の者を対象にS P I A法による免疫便潜血検査(2日法)で実施した。

受診者は、市町村(一般住民) 67,355人、事業所 37,665人の計 105,020人で、6.4%に当る6,711人が要精検となった。

大腸がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検	
			人員	率
出張検診	市町村	62,687	4,474	7.1
	事業所	11,303	533	4.7
	小計	73,990	5,007	6.8
センター	市町村	4,668	293	6.3
	事業所	6,932	367	5.3
	小計	11,600	660	5.7
ドックセンター	事業所	5,000	257	5.1
健管センター	事業所	14,387	786	5.5
合計(便潜血検査)	市町村	67,355	4,767	7.1
	事業所	37,622	1,943	5.2
		104,977	6,710	6.4
内視鏡検査(ドックセンター)	事業所	43	1	2.3
合計	市町村	67,355	4,767	7.1
	事業所	37,665	1,944	5.2
		105,020	6,711	6.4

(9) 子宮がん検診

検診車2台とセンター診療所で、原則として隔年で20歳以上を対象とする子宮頸がん検診をベースとし、40歳以上、最近6ヶ月以内に不正性器出血症状があった者のうち、医師が判断して本人の同意を得た者には子宮体がん検診を実施した。

子宮頸がん受診者は、市町村(一般住民) 35,172人、事業所 4,716人の計 39,888人で、受診者の 1.9%に当たる 759人が要精検となった。

子宮体がんは、頸がん受診者 39,888人の 0.5%に当たる 205人に実施した。

子宮がん検診実施状況

1) 子宮頸がん

方式別	区分	実施人員	要精検		実施日数	1日当り 実施人員
			人員	率		
出張検診	市町村	19,401	242	1.2	294	66
	事業所	469	7	1.5	23	20
	小計	19,870	249	1.3	317	63
センター	市町村	1,785	17	1.0	58	31
	事業所	1,246	32	2.6	15	83
	小計	3,031	49	1.6	73	42
ドックセンター	事業所	1,642	23	1.4	108	15
健管センター	事業所	1,359	17	1.3	37	37
日母検診	市町村	13,986	421	3.0		
合計	市町村	35,172	680	1.9	352	
	事業所	4,716	79	1.7	183	
		39,888	759	1.9	535	

2) 子宮体がん

方式別	区分	実施人員	要精検	
			人員	率
出張検診	市町村	12	0	0.0
日母検診	市町村	193	1	0.5
合計	市町村	205	1	0.5

(10) 乳がん検診

検診車3台で、市町村の保健センター等とセンター診療所で原則として40歳以上を対象とし、乳がん検診を実施した。

実施方法として、40～59歳は隔年でマンモグラフィ2方向撮影、60歳以上はマンモグラフィ1方向撮影をした。

受診者は、市町村(一般住民) 21,052人、事業所 3,942人の計 24,994人で、5.4%に当る1,345人が要精検となった。

乳がん検診実施状況

方式別	区分	方法	実施人員	要精検		実施日数	1日当り 実施人員
				人員	率		
出張健診	市町村 事業所	X線	18,937	969	5.1	553	34
		X線	304	20	6.6	27	11
		計	19,241	989	5.1	580	33
センター	市町村 事業所	X線	2,115	136	6.4	58	36
		X線	819	46	5.6	15	55
		計	2,934	182	6.2	73	40
ドックセンター	事業所	超音波	525	29	5.5	132	超音波
		X線	23	3	13.0		15
		超音波+X線	1,470	142	9.7		X線
		計	2,018	174	8.6		11
健管センター	事業所	X線	1,105	72	6.5	37	30
合計	市町村	X線	21,052	1,105	5.2	211	34
		超音波	525	29	5.5		超音波
	事業所	X線	1,947	69	3.5		15
		超音波+X線	1,470	142	9.7		X線
合計		計	3,942	240	6.1	16	
		超音波	525	29	5.5	822	超音波
		X線	22,999	1,174	5.1		15
		超音波+X線	1,470	142	9.7		X線
計	24,994	1,345	5.4	30			

(11) 前立腺がん検診

原則として、50歳以上の者を対象に実施した。受診者は、市町村 15,617人と事業所 8,385人の計 24,002人で、4.5%に当る1,077人が要精検となった。

前立腺がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検	
			人員	率
出張検診	市町村	15,585	806	5.2
	事業所	2,735	112	4.1
	小計	18,320	918	5.0
センター	市町村	32	0	0.0
	事業所	743	26	3.5
	小計	775	26	3.4
ドックセンター	事業所	2,951	70	2.4
健管センター	事業所	1,956	63	3.2
合計	市町村	15,617	806	5.2
	事業所	8,385	271	3.2
		24,002	1,077	4.5

(12) 学校心臓病検診(心電図検査)

受診者は 11,354人で、要精検は 1.3%の 149人、要観察は 0.4%の 45人となった。

学校心臓病検診実施状況

	実施人員	要 精 検		要 観 察		合 計		実施日数	1日当り 実施人員
		人員	率	人員	率	人員	率		
小学校	5,588	61	1.1	15	0.3	76	1.4	83	110
中学校	3,575	38	1.1	15	0.4	53	1.5		
高等学校	2,007	43	2.1	14	0.7	57	2.8	20	100
大 学	184	7	3.8	1	0.5	8	4.3	1	184
合 計	11,354	149	1.3	45	0.4	194	1.7	104	109

(13) 骨密度測定検診

D X A法(前腕骨骨塩量測定)及び超音波法(踵骨骨量測定)で実施した。

ア. D X A法…………… 市町村(一般住民) 4,870人、事業所 961人、ドック2,262人の計 8,093人で、受診者の 7.5%に当る 611人が要精検となり、14.4%に当る 1,167人が要指導となった。

イ. 超音波法…………… 市町村(一般住民) 1,267人、事業所 200人、若年者 488人の計 1,955人で、受診者の 7.3%に当る 143人が要精検となり、29.6%に当る579人が要指導となった。

骨密度測定検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検		要指導		合計		実施日数	1日当り 実施人員
			人員	率	人員	率	人員	率		
D X A法	市町村	4,870	497	10.2	904	18.6	1,401	28.8	64	76
	事業所	961	46	4.8	103	10.7	149	15.5	11	87
	ドック	2,262	68	3.0	160	7.1	228	10.1	184	12
	小計	8,093	611	7.5	1,167	14.4	1,778	22.0	259	31
超音波法	市町村	1,267	97	7.7	498	39.3	595	47.0	30	42
	事業所	200	29	14.5	62	31.0	91	45.5	2	100
	若年者	488	17	3.5	19	3.9	36	7.4	6	81
	小計	1,955	143	7.3	579	29.6	722	36.9	38	51
合 計	市町村	6,137	594	9.7	1,402	22.8	1,996	32.5	94	65
	事業所	1,161	75	6.5	165	14.2	240	20.7	13	89
	ドック	2,262	68	3.0	160	7.1	228	10.1	184	12
	若年者	488	17	3.5	19	3.9	36	7.4	6	81
		10,048	754	7.5	1,746	17.4	2,500	24.9	297	34

※ただし、若年者は再検査として分類をしているが要精検者として計上した。

(14) 腹部超音波健診

各事業所等から委託を受け、11,338人に実施し、その10.1%に当る1,142人が要精検となった。

腹部超音波健診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検	
			人 員	率
出張検診	市町村	349	34	9.7
	事業所	1,508	110	7.3
	小 計	1,857	144	7.8
センター	市町村	0	—	—
	事業所	746	77	10.3
	小 計	746	77	10.3
ドックセンター	事業所	5,171	526	10.2
健管センター	事業所	3,564	395	11.1
合 計	市町村	349	34	9.7
	事業所	10,989	1,108	10.1
		11,338	1,142	10.1

(15) 特定保健指導

各市町村及び各医療保険者との委託契約のもと、40～74歳までの者を対象に実施した。受診者は、動機づけ支援 1,323人、積極的支援 1,248人の計 2,571人となった。

腹 囲	追加リスク		対 象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧	喫 煙	40～64歳	65～74歳
男性85cm以上 女性90cm以上	2つ以上該当	あり	積極的支援	動機づけ支援
	1つ該当	なし		
上記以外で BMI 25以上	3つ該当	あり	積極的支援	動機づけ支援
	2つ該当	なし		
	1つ該当			

特定保健指導実施状況

	動機づけ支援	積極的支援	計
市町村	503	214	717
社保等	820	1,034	1,854
合 計	1,323	1,248	2,571

(16) 細胞診受託検査

県立中央病院などの各国公立病院及び関係医療機関からの委託を受け、婦人科、呼吸器科、体腔液及びその他の細胞診検査を 26,089件実施し、前年度より 1,006件の減少となった。

細胞診検査(部位別)実施状況

		陽 性	疑陽性	陰 性	判定不能	合 計
婦 人 科	膣 頸 部	105	1,429	19,627	27	21,188
	体 部	50	163	3,892	165	4,270
	そ の 他	8	9	105	6	128
	小 計	163	1,601	23,624	198	25,586
呼吸器科	喀 痰	2	5	92	46	145
	気 管 支	9	3	21	0	33
	小 計	11	8	113	46	178
体 腔 液	腹 水	4	1	7	0	12
	胸 水	10	2	28	0	40
	小 計	14	3	35	0	52

そ の 他	泌 尿 器	1	18	201	16	236
	乳 腺	1	0	5	1	7
	甲 状 腺	0	0	0	0	0
	消 化 器	0	0	3	0	3
	そ の 他	4	3	18	2	27
	小 計	6	21	227	19	273
合 計		194	1,633	23,999	263	26,089
前 年 度		330	1,701	24,749	315	27,095

第3 県からの委託事業の実施

平成29年度青森県生活習慣病検診従事者指導講習会

- | | |
|---------------------|--------|
| (1) 大腸がん検診従事者指導講習会 | (年1回) |
| 平成30年3月22日 | 参加者27名 |
| (2) 肺がん検診読影従事者指導講習会 | (年1回) |
| 平成30年3月9日 | 参加者23名 |
| (3) 乳がん検診従事者指導講習会 | (年1回) |
| 平成30年2月2日 | 参加者33名 |
| (4) 胃がん検診読影従事者指導講習会 | (年1回) |
| 平成30年3月28日 | 参加者29名 |

第4 普及啓発事業

1 各種検診等の広報普及活動の推進

がん征圧月間、結核予防週間、ピンクリボン月間、生活習慣病予防月間の周知を図るため、各種保健衛生関連事業に協賛し、地元の新聞、テレビ、ラジオにより広告を行った。

2 普及宣伝資材の購入等

- (1) 結核、がん、生活習慣病等の予防及び健康の維持増進に関する啓発資料を作成又は購入し各健康まつり、各検診会場で配布した。
- (2) 結核予防会の広報誌「複十字」及び「日本対がん協会報」を定期購入し関係機関等へ配布した。
- (3) 当センター広報誌「やすらぎ青森」を年2回発行し、関係機関等へ延べ1,000部配布した。

3 予防啓発の月間・週間の行事

- (1) 結核予防、がん征圧等の運動、啓発強化を目的として、月間及び週間のPRのため、ポスター・チラシ等の配布を実施した。

がん征圧月間	(9月 1日～9月30日)
結核予防週間	(9月24日～9月30日)
生活習慣病予防月間	(2月 1日～2月28日)
- (2) 市町村等が実施する結核、がん又は生活習慣病の予防啓発事業、健康まつり等に参加協力し、パネル等を展示した。
- (3) 平成29年9月9日～10日に結核予防、がん征圧等の運動、啓発事業の一環として「RABまつり」へ参加した。

4 生活習慣病等集団検診従事者研修会

平成30年2月16日 青森市において市町村及び事業所の保健師等を対象に参加者166名を招き研修会を開催した。

第5 検診等協力団体への活動支援

1 青森県結核予防婦人会

(1) 複十字シール街頭募金運動を結核予防週間期間にあわせて9月24日に青森市内3ヶ所で開催した。

2 青森県よろこびの会(がん克服者の会)

平成29年7月13日 鶴田町において参加者27名で総会並びに研修会を開催した。

第6 募 金 活 動

1. 結核予防事業の普及啓発及び資金造成のため、青森県結核予防婦人会、その他関係団体の協力を得て、複十字シール募金運動を次のとおり展開した。

- | | |
|----------|--------------|
| (1) 運動期間 | 平成29年8月～12月 |
| (2) 目標額 | 3, 500, 000円 |
| (3) 募金額 | 1, 950, 524円 |

2. がん予防事業の普及啓発及びその資金造成のため、会員制による募金運動を次のとおり実施した。

- | | |
|----------|---------------|
| (1) 運動期間 | 平成29年9月～30年3月 |
| (2) 目標額 | 2, 000, 000円 |
| (3) 募金額 | 1, 951, 225円 |

個人会員(143人) 1, 111, 225円、法人会員(82法人) 840, 000円

第7 理事会・評議員会・評議員選定委員会の開催

1 理事会

平成29年6月2日	決算の確定を目的
平成30年3月2日	次年度事業計画及び予算の確定を目的

2 評議員会

平成29年6月19日	決算の確定を目的
平成30年3月19日	次年度事業計画及び予算の確定を目的

3 評議員選定委員会

平成29年9月15日	評議員の選任を目的
平成30年3月9日	評議員の選任を目的

第8 会議・研修会の開催及び参加

1 県内の会議等

肺がん検診読影委員会	平成29年4月11日
乳がん検診画像読影委員会	平成30年1月23日
特定健康診査等判定検討委員会	平成30年2月9日
前立腺がん検診精度管理委員会	平成30年2月5日

子宮がん検診管理指導委員会	平成30年2月28日
胃がん検診読影委員会	平成30年3月7日
腹部超音波健診読影委員会	平成30年3月7日
骨密度(骨粗鬆症)検診判定委員会	平成30年3月1日
大腸がん検診指導管理委員会	平成30年3月16日
健診従事看護師研修会	平成30年3月9日
循環器健診従事医師打合せ会議	平成30年3月20日

2 県外の会議等

- (1) 結核予防会関係
- | | |
|----------------------|-----------|
| 結核予防全国大会 | (北海道、広島県) |
| 事務局長研修会並びに全国支部事務連絡会議 | (東京都) |
| 東北・北海道ブロック会議 | (秋田県) |
| 東北地区結核予防婦人団体幹部研修会 | (秋田県) |
- (2) 日本対がん協会関係
- | | |
|--------------|-------|
| がん征圧全国大会 | (石川県) |
| 全国事務局長会議 | (東京都) |
| 東北・北海道ブロック会議 | (青森県) |
| 全国よろこびの会総会 | (群馬県) |

第9 主たる学会の参加

日本消化器がん検診学会	(茨城県)
日本消化器がん検診学会東北地方会	(岩手県)
東北地区集検放射線技術部会	(宮城県)
日本乳癌検診学会	(徳島県)
日本臨床細胞学会 (春期大会)	(大阪府)
日本臨床細胞学会 (秋期大会)	(福岡県)
細胞検査士教育セミナー	(神奈川県)
日本超音波医学会東北地方会	(福島県)
日本超音波医学会	(栃木県)